

# 身近な内容を利用した課題学習の実践について

愛媛県立今治南高等学校 成田 和哉

## 1 はじめに

本校では、2年前から地域課題への取組として「i. i. imabari」での提案や、総合的な探究の時間を利用して地域課題に対する考察や提案等の活動を行ってきた。どちらも生徒にとって身近な今治市の課題に取り組んでいるものであるため、関心をもって取り組みやすい。その2つで私のクラスが活用したのが「RESAS -地域経済分析システム」である。

「i. i. imabari」では、今治市への提案として道の駅にスタンプラリー形式の名産品を作り、観光客が楽しめる仕組みを作ることを提案した。また、地域課題では、私が担任をしているクラスでは、主に観光業に関して活動を行い、その中で「データ分析班」が今治市の観光に関する地域課題を考察していった。どちらの取組みも、最初に統計データを利用し、そこから地域課題が何かを考えるところからスタートした。しかし1つの統計データを取り、その意味を考察することはできていても、複数のデータから地域課題に関する考察を行うことが難しく、教員主導になって調べさせることが多々出てきた。生徒が自分たちで仮説に対し、必要なデータが何かを考え、それらのデータを根拠として地域課題への提案を行うことができるようになることを目指した。

## 2 研究の目的

- (1) 仮説に対する根拠となるデータを選択し、それらのデータから考察させる。
- (2) データを適切に用いて地域の特徴や傾向を推測させる。

## 3 実践内容

### (1) 実施時期

総合的な探究の時間

### (2) 実施内容

根拠となるデータをもとに仮説を立てられるプリントを作成する。

作成したプリントを用い、複数のデータをもとに、今治市の課題についての仮説を立てさせる。

2年1組「融」

地域課題への提案に向けて

仮説

サイクリングで活気ある観光客が福地せせくろをわたり、観光地も活性化して今治市の観光客が増える。

根拠となるデータ	根拠となるデータ	根拠となるデータ
観光客の年齢層の多さ	サイクリングで活気ある観光客が多い	伊予川海運の船乗りによる観光客が多い

インタビューの内容

- ・市内の観光客が増えている。
- ・市内の観光客が増えている。
- ・観光客が増えている。日帰り
- ・伊予川海運の船乗りによる観光客が多い。

仮説をもとに何を提案するか

・年代別、福地せせくろの観光客を増やす。

図1 仮説を立てるためのプリント

こちらが設定した仮説をもとに、今治市の課題についてインタビューを行う。

仮説及びインタビュー内容をもとに、今治市への提案を考察させ、実際に活動に移っていく。



図2 市役所の方へのインタビュー

### (3) 実際の活動の流れ

最初に学年全体に対して市役所の方から、今治市の現状について教えていただいた。その後クラスに分かれて地域課題に対する提案を考えていく。

私のクラスは観光分野を担当したので、観光の中でも更に分野を分けて活動を行った。データに関する班では、プリントを用いて、今治市の観光客が増えることを目標とし、仮説を立てさせた。その仮説が正しいかどうかを考えさせるため、根拠となるデータを、RESASを用いて調べた。



図3 RESASを用いている様子

その後、今治市役所と連携を取り、インタビューを実施した。提案内容に関する情報をいただき、提案内容をさらに検討する。方針が決めて、実際に提案に移っていく。

提案内容ごとにプレゼンテーションを作り、クラスで発表を行った。そして最後にまとめのレポートを提出させた。提案内容の例としては「外国人観光客に対する旅行プランの提案」や「観光客の構成に応じたプランの提案」等があった。

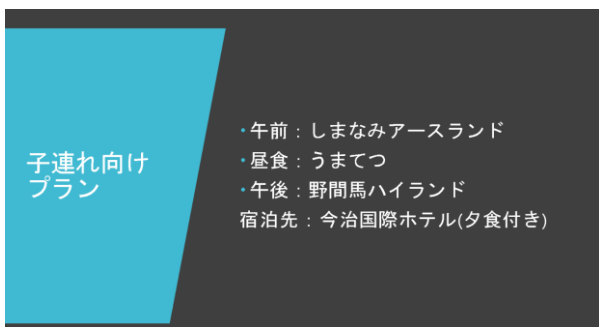


図4 提案したプレゼンテーションの一部

地域の課題を解決するために		1組	観光班
テーマ	観光客の増やして今治を活性化させよう!		
班員氏名			
研究概要	<p>1 目的 地域の観光地についての調査、そのデータを観光レポートにまとめる。</p> <p>2 内容 ○ データを年代や分野別で分類し、その傾向を掴む 観光マップ作成 ○ どの観光地、飲食店を見たい? SNSの活用 ○ 観光客のアンケート</p> <p>3 結果 アンケートを作成し、そのデータを整理して観光レポートにまとめる。観光レポートの作成に役立つ。</p> <p>4 考察 近郊の飲食店や観光地について、今治の内部の観光地は目につく、その情報は県外に発信する。観光客が増えるのはいいか?</p> <p>5 まとめ 今回の活動は、今治の観光地について調べた。観光客を増やして今治の観光客を増やしたい。</p> <p>6 引用文献・参考文献 観光、今治市観光局のホームページ</p>		

図5 まとめレポート

### 4 研究のまとめ

地域課題への提案を考えていくという活動を近年本校では実施しているが、伝えられた情報のみで活動するのではなく、自分たちで根拠となるデータを集め、考察することから活動をしてきた。生徒は担当班を小分けにすることによって個別に役割が生まれるので、比較的熱心に取り組んでいたように感じる。また、欲しいデータが得られない場合にどうするのか。代わりに使えるデータはないのかなど、やっていく中で課題も生まれた。そして、今回は2年生で実施しており、半年で活動を行ったこともあり、データを活用するのに時間を取られたことで後半の時間が足りなくなり、放課後の時間を使うことが多くなってしまった。まだ始まって年数が経っていない内容なので、時間設定等は今後の課題であると思う。

### 5 参考文献

RESAS -地域経済分析システム

「<https://resas.go.jp/#/38/38202>」